



Happy通信

2021年2月号



1月の集団トレーニングの振り返り

【幼稚園準備コース】

1月は「リズムダンス」が始まりました。曲をよく聞きながら、前の先生の動きや掛け声に合わせて踊り、普段無意識に動かしている体の使い方を知れるよう取り組んでいます。

【ソーシャルスキルコース】

先月は、サーキットの中に「ひらがなマッチング」を取り入れたり、言葉の仲間分け・旗揚げゲームに取り組みました。今月は「はないちもんめ」に挑戦していきます！年長さんの小学校準備に向けて、着席しての運筆活動や発表活動なども取り入れていきたいと思えます。

【小学校準備コース】

小学校で始まる「”読み”」に備えて「音読」も始まりました。2月は「お当番」の活動が始まりました！台本を読みながらお友だちの様子を確認するのに戸惑っていましたが、練習を重ねていきたいと思えます。また、給食当番などにも取り組んでいきます。

1月の制作



【救急救命講習を実施しました！】

2月10日に、中野ルーム・中野教室（放課後等デイサービス）のスタッフ合同で、中野消防署の方をお招きしてより救急救命講習を受講しました。AEDの使い方や、乳幼児向けの誤飲対応などを学びました。



【年中さん】就学イベントを実施しました！

1月20日・23日に、年中さん保護者様向けのイベントを開催しました。初めてオンラインで実施したのですが、8割以上の方から「とても良かった」という評価を頂きました。ご参加ありがとうございました！



【緊急事態宣言の延長につきまして】

緊急事態宣言の延長に伴い、中野ルームではお父さま・ご家族の方、職員の感染防止のため、これまでの感染症対策を継続して取り組んでまいります。

中野ルームの取り組み

- ・対面フィードバック→メールでの振り返り
- ・zoom療育の推奨
- ・メール、電話、zoomでの面談やご相談の受付
- ・保護者席の分散→モニターを設置



お子さまのマスク着用につきまして

ハッピーテラスではマスク着用を基本としておりますが、WHOでは「5歳以下の子供は必ずしもマスク着用にごくこだわらなくてよい」とされています。従いまして、発育・発達段階や、運動など活動内容に応じた対応を取らせていただいております。マスクを外した際も感染症対策に十分配慮致しておりますので、ご理解よろしくお願いたします。

【教室アンケートのお礼】

先月実施しました教室アンケートでは、90%以上の方からご回答を頂きました。ご協力ありがとうございました。頂いたご意見は、教室の改善に繋げるため職員一同で目を通して参ります。結果については集計が終わり次第、保護者様に周知させていただきます。

【今月のコメントテーマ(ご意見ボックス)】

- ・モニターの見え方や、寒さはどうだろうか？
 - ・取り入れてほしい教具や遊びは？
 - ・どんなイベントを希望されているか？
 - ・ハッピー通信で取り上げてほしい内容や、感想を知りたい！
- …などなど、気になることは「ご意見ボックス」にご投稿ください。普段の療育のご感想や、お子さまの生活の1コマでも大丈夫です！コメントお待ちしております。



【お知らせ】掲示物コーナーが新しくなりました！

玄関にコルクボードを設置し、掲示物コーナーを移転しました。ご来所の際はぜひ、目を通してみてください！



ハッピーテラス株式会社

ハッピーテラスキッズ中野ルーム

東京都中野区本町6-14-2 和田ビル1階

TEL:03-5328-1810 FAX:03-5328-1820

mail: kids-nakano@happy-terrace.com

tachibana@happy-terrace.com

編集者: 矢野 竜太郎・橘 英樹

【特集】虐待に関する取り組みについて

ハッピーテラス中野ルーム 虐待防止マネージャー 橘 英樹

コロナ禍で、子どもが親などから虐待をうけたとして、児童相談所が対応した件数は昨年1月からの半年間で9万9000件を超え、過去最多のペースとなっていることが厚生労働省のまとめでわかりました。

新型コロナ感染対策のための外出自粛により、休校やテレワークなど生活様式の変化がみられたご家庭も多かったと思います。家族が一日中自宅にいるということが増え、親子共々ストレスを溜めてしまい…なんてこともあったかと思います。育児や家庭に関することを誰かに相談したい、という意味がある親も、感染症対策や密を避けるため、相談しづらくなっていたのではないのでしょうか。

子どもへの虐待は、子どもの心に深い傷を残し、否応なくその輝きを奪い、時に、将来の可能性をも奪うものであり、何人も子どもへの虐待を行ってはならないことは皆様ご承知の通りかと思えます。

しかしながら、核家族化、地域社会の人間関係の希薄化、生活様式の変化などを背景に、家庭や地域社会における養育力が低下することにより、保護者が子育てに困難を抱え、その結果虐待行為に至ることがある事実も受け止めなければならない現状もあります。

保育園、幼稚園はもとより児童発達支援事業所も連携しながら子どもと家庭を支援し、家庭で健やかに成長できる環境づくりを進める努力が求められています。

ハッピーテラスでは、上記の背景より虐待防止委員会を設立し、虐待を未然に防ぐための取り組みを実施しております。

子育てに悩む保護者の皆様や、レスパイト(一時的な休息)を望まれる方のご相談を気軽にできる事業所作りを目指しておりますので、お気軽にご相談いただければと思います。

また、ハッピーテラス以外でも気軽に相談できる場所はたくさんございます。ポスターなどを掲示してございますので、ご確認いただければ幸いです。

ご不明な点やご相談窓口につきましては、

「ハッピーテラスキッズ中野ルーム 虐待防止マネージャー 橘 英樹」もしくは各担当スタッフまでお気軽にご連絡ください。



臨床心理士・高阪知秀先生のちょっと知ってもらいたいこと☆

第9回 アサーティブな表現をする際の心構え

今回は、言語表現のアサーションの集大成として、心構えのポイントについてご紹介します。大きく分けると5つの要素に分けられますので、それぞれについてご紹介します。

1. 日常会話のアサーションと課題達成・問題解決のアサーションを結びつける

最初に、それぞれのアサーションの特徴を簡単に振り返ってみましょう。

◆ 日常会話のアサーション(メンテナンス)

→ 他者の気持ち、思考、存在を受け止め、応答し、協力、協働しようとする姿勢と言動を

◆ 課題達成・問題解決のアサーション(タスク)

→ 状況分析→課題を見定め、客観的に見ても妥当な解決策を決めて実行する

2. 自分を相手に伝える

アサーションに限らず、コミュニケーションは、【自身を誰かに理解してほしい】という動機から生まれる行動です。しかし、誤解や無視などの様々な要因から、そういった想いを率直に示している人は、ごくわずかであるのは皆様も周知の通りです。

ともあれ、他者とコミュニケーションをとるという事に関しては、自分のことを率直に相手に知らせることへの覚悟が必要です。

3. 応答にちょい足しする

聞かれたことに答えるだけでなく、質問に関連した内容の情報を少し足して応答することによって、話題に広がり生まれ、いつの間にかできていた【質問する担当】と【応答する担当】という一方通行の関りから、【お互いに聞きたいことを聞いて答える】という双方向的な関わりに繋げていくことができます。

4. 質問を使い分ける

◆ 開かれた質問: 「はい」、「いいえ」だけでは答えられない質問。

Ex) 「今日の宿題はどんなのが出たの?」など

◆ 閉じられた質問: 「はい」、「いいえ」、その他端的な表現で答えられる質問。

Ex) 「今日の宿題終わった?」など

5. 積極的に他者の言葉に耳を傾ける

一言に「きく」と言っても、実は「聞く」「聴く」「訊く」の3種類あります。今回の場面での「きく」は「聴く」です。この「聴く」は、相手の言うことに耳を傾ける、いわゆる「傾聴」を意味する「聴く」です。

いかがでしたでしょうか?

今回までで言葉を用いたアサーションのご紹介は終了となります。

次回からは、今回の文章の中にも少しだけ出てきた、言葉を用いない、非言語的なアサーションについてご紹介していきたいと思います。